

山形県立 鶴岡南高等学校

地域活性化ゼミ駅前活性化班

伊藤 杏 五十嵐 唯 今野 杏唯 本間 君佳 佐藤 菜々子



鶴岡駅前改造計画～ウチらが駅前変えちゃった!?

1) テーマについて

地域活性化に関する探究活動をしていく中で、私たちは「鶴岡駅前に活気を取り戻したい」という考えから、どのような方向性でどのような活動をすれば駅前が活気あふれる場所になるかというテーマ設定をしました。また、昨年度の「第1回鶴お菓子まつり」の取組みを繋いでいくという目的も持って探究活動を行いました。

2) テーマに基づく活動について

昨年度は実施までで終了していた「鶴お菓子まつり」ですが、今年度は企画を改善しイベントのパワーアップも図りながら、実施後は地域の方々のアンケート調査を活かして駅前商店街でインターンシップを行い、商店街の内部から賑わいのある駅前に変えていくことを目標に準備を行いました。イベントに向けて、私たちは参加校や協力して下さる菓子店の募集、協賛金集めも自分たちの力で行了しました。また、イベントキャラクターの考案やポスター・チラシの作成、SNSを用いた情報発信



など、広報活動にも注力しました。当日は、鶴岡市内の高校4校と地元菓子店がタッグを組んでスイーツを販売する「鶴お菓子甲子園」をはじめとしたイベントで盛り上がり、多くの方が足を運んでくださいました。今回のイベント開催は駅前の賑わい創出としては効果的でしたが、まだまだ地域の方々からはイベントの充実を求める声が多いこともわかりました。私たちの探究活動の検証は途中段階ではありますが、企画立案から運営、予算の作成、執行、広

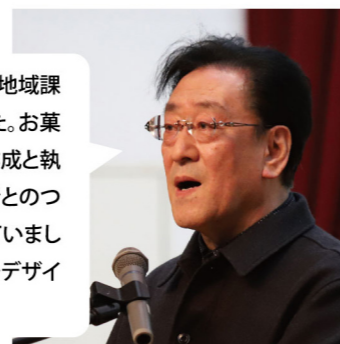
報活動等を通じて様々な企業の方々と関わることができ、貴重な経験をすることができました。

3) これからの活動に向けて

今回のイベントについて振り返りを行い、インターンシップ活動を通して、改善した内容で次の開催に臨みたいと思います。駅前商店街の方々にご協力を頂きながら、「駅前の利用者が少ない」という問題に一人ひとりが課題意識を持って活動を続けていきたいです。

審査員／渡部 泰山氏

「鶴岡駅前に活気を取り戻したい」という高校生の企画力、行動力、地域課題の分析・検証力・実践力そして、探究的な深い学びに圧倒されました。お菓子、アート、作品展示、駅前探検などの駅前イベントの開催、予算の作成と執行、広報、地域住民の意識調査、売り上げ分析、そしてなにより関係者とのつながりなど、どれも実践的でリアルであり実証的な研究が展開されていました。地域の持つ魅力をどう引き出していくか、コミュニティ、ソーシャルデザインの解像度を高めた優れたふるさと探究の愛が凝縮されていました。



尾花沢市立 尾花沢中学校

令和元年度 第3学年

小野 慈和 松原理子 間宮 舜一郎 松田 空来 折原 響 石山 太助
菅野 陽太 岸 琉雅 佐藤 航希 秋保 由菜 西尾 乃朱



尾花沢レインボープロジェクト

1) テーマについて

私たちは、中学生の視点から地域を活性化することはできないものかと考え、7つの地域活性化計画である「尾花沢レインボープロジェクト」を立ち上げました。尾花沢の一市民としてできることを真剣に考え、行動する大切さを重視して活動に取り組みました。

2) テーマに基づく活動について

まず1つ目に、春夏秋冬の尾花沢の美しさを表現するパンフレットとオリジナルキャラクター「ウオタメロちゃん」を作りました。その際、市のキャラクター「ゆきごろう」とコラボするために、市への使用申請も行いました。2つ目は尾花沢をイメージしたオリジナルコースターを開発しました。開発後はイベント会場で販売し、2時間で完売させることができました。3つ目は「必見! 発見! おばねのいいとこ大賞」をテーマに銀山温泉・徳良湖で撮影したオリジナルCMを2種類制作しました。キャスト・撮影・編集



を自分たちで行い、尾花沢の魅力をぎゅっと詰めた作品に仕上がりました。4つ目は尾花沢の観光地になかった「顔出しパネル」の製作、5つ目は尾花沢を表現したふるさと絵葉書を30種・300枚印刷し、観光地からスーパーまで幅広い施設に置かせて頂きました。6つ目のPRポスターの制作については、自らJRへ交渉し、大石田駅に掲示して頂きました。最後の7つ目の活動として、モンテディオ山形の試合会場や尾花沢の観光名所銀山温泉で花笠

5流派の踊りを多くのサポーターや観光客の前で披露しました。7つのプロジェクトを通して、主体的に行動する力を養うことができ、尾花沢に対する誇りも高めることができましたと考えています。

3) これからの活動に向けて

プロジェクトのまとめとして、「尾花沢で育って」という題名でレポートを作成し、学年全体の127名で互いに郷土愛の深まりを評価していきます。

審査員／沼野 慈氏

3年間の学びが結実した素晴らしい実践活動は、7つの地域活性化計画により、生徒の担い手意識が高まると同時に、主体的な行動を促すことにつながりました。そこには体の中に息づく花笠踊りの魂に気づき、先人の熱い思いを受け継いだ自覚がありました。プロジェクトの実施に向け試行錯誤する過程の熱意が伝わり、地域を巻き込んだ更なる展開に大きな期待が持てます。





天童市立 干布小学校

4年生

花輪 大駕 工藤 和真 水戸部 七花 仲野 佑哉 茂木 然
富樫 穂華 蜂谷 美希



紅花ってすごい!

1) テーマについて

紅花栽培の学習を通して、山形県の花「紅花」について学ぶとともに、ふるさとの「干布」地区でも昔は紅花が栽培されていたことや染料として栽培されることが少なくなっている現状を学びました。しかしながら、現在でも様々な分野で紅花が活用されていることを知り、「もっと知りたい」「学んだことを発信したい」という思いが高まり、今回のテーマを設定しました。

2) テーマに基づく活動について

私たちは3年生のときに、当時の4年生から紅花の種をもらいました。紅花染めができることは知っていましたが、詳しく調べてみると「紅花は食べることもできる」ことがわかってきました。そして、実際に育てて紅花染めや調理をしてみたいと思うようになり、栽培活動をスタートさせました。探究活動が続いていく中で、紅花の普及活動をしている大山るり子さんと出会い、「見

てよし、染めてよし、食べてよし、天童の紅花」という合言葉があることを学びました。この合言葉のもと、私たちは若菜や花びらを乾燥させた乱花を使った料理や、紅花すり染め・ハンカチ染めに挑戦しました。これらの体験を通して、紅花に対する知識が深まり、「紅花はすごい!」と感動を覚えました。また、干布地区にある松尾芭蕉が詠んだと言われる『まゆはきの句碑』を見学し、

紅花を通して干布の歴史にも触れることができました。

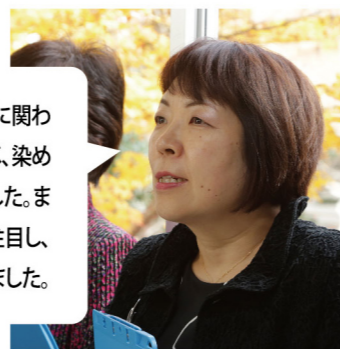
3) これからの活動に向けて

探究活動を通して、紅花の魅力を実感し、紅花を通して干布の歴史も学ぶことができました。この学びを発信し、より多くの人に魅力を伝え、関心を高めてもらえるように活動を続けていきたいと考えています。



審査員/堀川 敬子氏

山形県花「紅花」を題材に、実際に栽培してみて、地元で紅花に関わりを持つ方からご指導を仰いで、食材としての若菜や乱花を食べ、染め物にも挑戦するなど、その行動力には目を見張るものがありました。また、地元にある芭蕉の紅花の句碑を見学して地域の歴史にも注目し、発表の際には芭蕉と曾良に扮して会場を大いに盛り上げてくれました。



山形県立 山形東高等学校

山東探究部映画製作チーム

橘 周生 工藤 伯 佐藤 栄起 高橋 昂大 川崎 じろう 浦山 真依



山形の山形を世界の山形へ!

1) テーマについて

先輩方が取り組んできた映像を通じた国際交流活動をベースに、私たちの手で新たに製作した映像を活用して国際交流をしたいと考え、山形を紹介する高校生らしいプロモーションビデオを製作し、国内外へ山形を知ってもらうことを目的としてテーマ設定をしました。

2) テーマに基づく活動について

創造都市推進事業「Film Package to the World」での姉妹友好県のインドネシア・パプア州と映像交流や、ポーランド・アイルランドの映画監督と交流をしたコ

ネスコ創造都市推進事業 Creative Café への参加を通して、山形市と世界との文化の違いを実感し、より多くの人に映画を通して山形の魅力を広めたいと考えました。そこで、「高校生侍」を主人公にした『The High School Samurai』を製作しました。山形の破壊を企む危険な二人組と高校生侍が山形の名所で戦いを繰り広げ、高校生侍が戦いを通じて、破壊を食い止めるというストーリーにしました。製作にあたり、私たち自身も改めて山形の魅力を感じることができ、世界と繋がる貴重な機会を得ることができました。



3) これからの活動に向けて

今後も積極的に国際交流活動の場へ参加し、山形魅力を再発見し、山形を知らない地域へ直接魅力を伝えていきたいと考えています。また交流相手の地域からも魅力を発信してもらい、「世界を知る・山形と世界をつなぐ・山形を世界に広める」活動を続けていきたいです。



山形県立 北村山高等学校

北村山高家庭クラブそばガールズ

奥山 楽多 丹野 那菜 井上 茉優



そばパワーで地域を元気に!~そばの新たな魅力でそば街道の魅力アップ~

1) テーマについて

地元尾花沢市と大石田町はそば街道で有名ですが、そば切り・そばまんじゅう以外そばに関するお土産品がほぼありません。そこで、平成26年に生活総合系列の3年生で「北村山高家庭クラブそばガールズ」を結成し、そばの新たな魅力でそば街道の魅力をアップする目的で活動を継続しています。

2) テーマに基づく活動について

そばガールズでは大きく3つの活動に取り組んでいます。1つ目は「そばについて知る」ことです。毎年、地元大石田のそば研究家の方の講座や、そばの栽培と活用について体験するイベント「大石

田そばシリーズ」へ参加・協力し、そばの知識を深め魅力を感じています。2つ目は「そばの新たな魅力の発見と活用の研究」です。5年間で約140種類のそばアイデア料理・そばスイーツを考案しており、今年は新たに14品を考案しました。また、食べる以外の活用法としてそば殻とそば茎を材料にそば染めの研究も行っており、温泉などを活用した染色実験もしています。3つ目は「そばの魅力を広める活動」です。今年度は、「道の駅尾花沢ねまる」にてそばアイデア料理の試食会を開催、銀山温泉「大正ろまん館」や地元菓子店「うろこや」では、そばアイデア料理・そばスイーツを販売することができました。その他、そば染めで製作した袱紗などをお茶会で使用してもらったり、「そばを楽しむ体験ツアー」を開催したりと、地域と一体化したオ



リジナル活動を行うことができました。

3) これからの活動に向けて

そばガールズと地域の皆さまがそばを通して協働することで、地域と学校を元気にできると考えています。これからも研究開発を続け、「そばパワーで地域を元気に!」を目標に、地域の皆さまと一緒に活動していきます。